

自然観察サークルブログ

自然観察サークルの9月定例会。いつものように準備体操をして観察に出発しました。



ナンバンギセルはなかなかかわいい花です。淡いピンクから濃い赤紫色のグラデーションもきれいだし、その形もなかなかユニークです。

この花は、ハナウツボ科ナンバンギセル属で、寄生植物です。イネ科の植物に寄生するそうです。今日のウツボグサは、ススキに寄生しています。ミョウガやサトウキビにも寄生するそうです。サトウキビなんか寄生すると収穫量に影響すると思うので、農家の方には嫌がられるでしょうね。可愛いなんて言ってもらえないですね。

今日の観察会は、秋のあそび広場の下見を兼ねました。

あそび広場で「ナンバンギセルツアー」と称してミニ植物観察会をすることになっていたの、ワイワイ言いながら下見をしてツアーのコースを決めました。心配していたナンバンギセルもしっかり顔を出していて、みんな一安心しました。



9月の中旬、秋の田の景色を遠くに見ながら観察をしましたが、トンボがたくさん飛んでいました。写真のトンボは、アキアカネです。

アキアカネはこのように水平に止まるそうです。アキアカネとよく間違えられるウスバキトンボはめったに止まらず、止まった時はぶら下がるように止まるそうです。

アキアカネが普通にみられる環境がここにはまだ残っていました。本当にうれしいことです。

アキアカネは暑い夏は涼しい山間部において、涼しくなるにしたがって平地の方へ下ってくるのだそうです。



たくさんトンボが飛んでいたのですが、もう一匹きれいなトンボを撮ることができました。

カトリヤンマです。

このヤンマは樹林周辺の池や田んぼで発生するそうです。飛んでいる姿を見たときは一瞬黄緑と水色が目に入ったので(ギンヤンマ?)と誤ってしまいましたが、運よく止まったところを写真に撮ることができたので、名前を調べる事が出来ました。

このトンボがいることは、やはりこのあたりの環境が素晴らしいのだという事の証明だろうと思います



トンボがたくさん飛ぶ中、植物観察をしながら集合場所へ帰ってきました。

午後はおそび広場の相談です。

午前中、途中のコースで観察した植物と鳥とトンボ。



川沿いで。ヤブラン



ヒガンバナ(もうすぐお彼岸。季節を感じます。)



左が「ミョウガ」で、右が「ヤブミョウガ」。川沿いの林の中に道を挟んで向かい合わせで生えていました。



左の写真は何か分かるでしょうか？

見えている茎は「ハラン」(キジカクシ科ハラン属)です。根元にある丸い物は花が咲いた後にできた実なのだそうです。

ハランは良く見ているのにこんなところに花が咲くなんて、見たことがありませんでした。驚きです。みなさんはご存知でしたか？



ハグロトンボ



アオサギ



ハクセキレイ



ツルボ



ママコノシリヌグイ



イモカタバミ 等等を観察しました。